

学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

2019（令和元）年3月末をもって文学研究科社会学専攻修士課程に在籍する学生がいなくなり、同年6月に文学研究科社会学専攻修士課程を廃止した。また修士課程修了予定等を対象とした2019（令和元）年度入試に出願がなかった。それにともない、2020（令和2）年4月、文学研究科社会学専攻博士後期課程の学生募集を停止し、大谷大学大学院文学研究科博士後期課程の収容定員を9名減員する。

専攻名	変更前		変更後	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
文学研究科 修士課程	<u>79</u>	<u>158</u>	<u>73</u>	<u>146</u>
真宗学専攻	20	40	20	40
仏教学専攻	15	30	15	30
哲学専攻	10	20	10	20
社会学専攻（令和元年廃止）	—	—	—	—
仏教文化専攻	10	20	10	20
国際文化専攻	10	20	10	20
教育・心理専攻	8	16	8	16

専攻名	変更前		変更後	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
文学研究科 博士後期課程	18	54	<u>15</u>	<u>45</u>
真宗学専攻	3	9	3	9
仏教学専攻	3	9	3	9
哲学専攻	3	9	3	9
社会学専攻	<u>3</u>	<u>9</u>	<u>0</u>	<u>0</u>
仏教文化専攻	3	9	3	9
国際文化専攻	3	9	3	9

イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

文学研究科社会学専攻博士後期課程について、2019（令和元年）年度入学試験について、進学母体である文学研究科社会学専攻修士課程修了予定者の進学希望や他大学等からの志願者がなかったため、2019（令和元）年4月入学者がいないことが確定した。また文学研究科社会学専攻修士課程に在籍する学生が2019（令和元）年3月末に修了し学生がいなくなったため、同年6月に文学研究科社会学専攻修士課程を廃止した。これらの状況を受け、予定通りに文学研究科社会学専攻博士後期課程を廃止する。

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

（ア）教育課程の変更内容

学生募集停止による収容定員の減員であるため、教育課程等の変更を行う予定はない。

（イ）教育方法及び履修指導方法の変更内容

在籍学生が修了するまでの間、必要となる授業科目を開設し、研究指導を継続して行い、教育・研究指導環境の維持には万全を尽くす。

（ウ）教員組織の変更内容

教員組織についても、在籍学生が修了するまでの間、専攻の運営や研究指導に必要となる教員組織を維持する（文学部及び社会学部に所属）。なお、最後の在籍学生が博士後期課程への進学を行わず離籍した後は、社会学専攻を廃止することとなるが、その際の文学部所属教員は、すべて大谷大学社会学部に移籍する予定である。

（エ）大学全体の施設・設備の変更内容

施設・設備については引き続き大谷大学が使用する。

以上